

## 紡ぐ2

## 「学びのまち・吉岡」の推進



全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現のため、教育人の育成と物的環境の整備に取り組み、子育て世代に選ばれるまちづくりを目指しています。生涯学習、生涯スポーツの活性化を図るとともに、多文化共生の時代にあつて、ダイバーシティの視点を持ったまちづくりを進めています。

## 学校教育の充実

児童・生徒が主体となる学校教育を目指し、「主体的・対話的で深い学び」や、「学習者がアウトプットする授業」、「探究的な学びを見据えた授業」を行っていきます。個別に悩みを抱える児童・生徒のため、教育支援センターの取り組みを進めています。増加傾向にある児童・生徒数などの動向を踏まえ、より快適な学校生活環境を実現するために、教育施設の整備や維持、補修に努めています。学校給食センターでは、児童・生徒に安全・安心でおいしい給食を提供し、子どもたちへの食育活動を行っています。

## 多文化共生社会の実現

社会情勢や人口増加を背景に住民の多様性が広がるなか、町では、住民の誰もが尊重される環境整備に努め、男女共同参画意識の高揚を図るとともに、外国人を温かく迎え入れるまちづくりのために、町のホームページや道の駅などの表記の多言語化を進めています。

## 生涯学習・スポーツ・文化活動の推進

生涯学習および文化活動では、ホール事業や映画上映など芸術文化鑑賞の機会を提供しています。文化団体や愛好会の活動場所として文化センターが活用されるとともに、各種講座を通して、町民が講師となり「生きがい・人とのふれあい」の場づくりを行っています。スポーツ活動では、各種大会の参加者の増員やスポーツがしやすい環境づくりに努めています。これら生涯学習・文化活動・スポーツの推進を図りつつ、町民の心豊かな時間を提供しています。

## 紡ぐ3

## 次世代につながる生活環境の充実



道路、公園、上下水道、公共施設など、多くの人が利用する公共財産を有効活用するため、利便性の向上と長寿命化に積極的に取り組み、計画的な都市づくりを促進しています。また、公共交通の利便性や定住環境の向上を図り、住民の生活の質がより良くなるよう尽力しています。

## 適正な土地利用

都市計画法による土地利用制限などにより、人口減少・少子高齢化に対応したまちづくりを進めています。また、駒寄スマートインターチェンジ周辺を産業・工業・流通・商業の「複合拠点」と位置づけ、計画的な土地利用に取り組んでいます。

## 道路・公共交通の充実

駒寄スマートインターチェンジと周辺地域の連携強化を図るため、都市計画道路の大久保上野田線（吉岡バイパス）の延伸事業について、関係自治体との連携により推進します。地域の要望を中心とした生活道路の整備を進めるとともに、渋滞や危険箇所解消のための道路整備を行っています。また、既存駅の有効活用とともに、路線バスなどの公共交通の利用者拡大を図っています。

## 環境問題への対応

令和5年、2050年までにCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）排出量を実質ゼロにすることを目指す「吉岡町ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。気候変動対策やごみ減量化、リサイクル率の向上に取り組んでいます。

## 上下水道処理施設の整備

安全でおいしい水を安定供給するための水道施設の維持・更新を行っています。下水道では施設の計画的な改築・更新を行い、また、合併処理浄化槽の設置費用の一部を補助することで、河川の自然環境の保全に努めています。

## 住環境・公園などの維持・確保

安全で快適な公園利用のために、遊具などの点検を行い、危険性や不具合の改善に迅速に対応するとともに、中長期的な観点から、効率的な維持管理に向けた対策を行っています。地域の魅力向上やにぎわいの創出につながることをテーマに、公園施設の再整備に向けて取り組んでいます。